

平成 30 年度

名古屋市子ども・若者・子育て家庭

意識・生活実態調査報告書（概要）

平成 31 年 3 月

名 古 屋 市

1 調査目的

平成 31 年度に策定予定のなごや子ども条例第 20 条の規定による「子どもに関する総合計画」及び子ども・子育て支援法第 61 条の規定による「市町村子ども・子育て支援事業計画」策定の基礎資料とするため子育て家庭、子ども及び若者の意識・生活実態・ニーズ等を調査する。

2 調査対象

名古屋市内に居住する者のうち、次の年齢に該当する者等を住民基本台帳から無作為に抽出し、調査対象とした。

① 子育て家庭

ア) 0 歳～5 歳の子どもの属する世帯 12,000 世帯

イ) 6 歳～17 歳の子どもの属する世帯 12,000 世帯

② 子ども 10 歳～17 歳の子ども 8,000 人

①のイ)のうち、子どもが10歳以上の世帯について子どもも調査対象とした。

③ 若者 18 歳～39 歳 10,000 人

3 調査方法

郵送で配布し、郵送で回収した。

若者のうち 9,000 人については、WEB によるオンライン調査を実施した。

4 調査期間

平成 30 年 7 月 9 日から 7 月 30 日

5 回収結果

区分	調査対象数	回収数	回収率 (%)
就学前保護者	12,000	3,915	32.6
就学後保護者	12,000	2,903	24.2
子ども	8,000	1,482	18.5
若者	10,000	1,402	14.0
合計	42,000	9,702	23.1

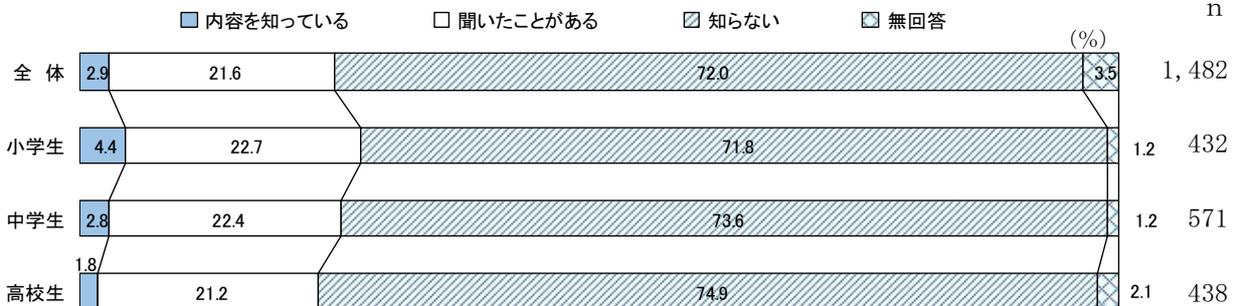
年齢は平成 30 年 4 月 1 日現在

I 子ども調査

なごや子ども条例を知っているかについて 【問57】

■ なごや子ども条例を知っていますか。(1つ)

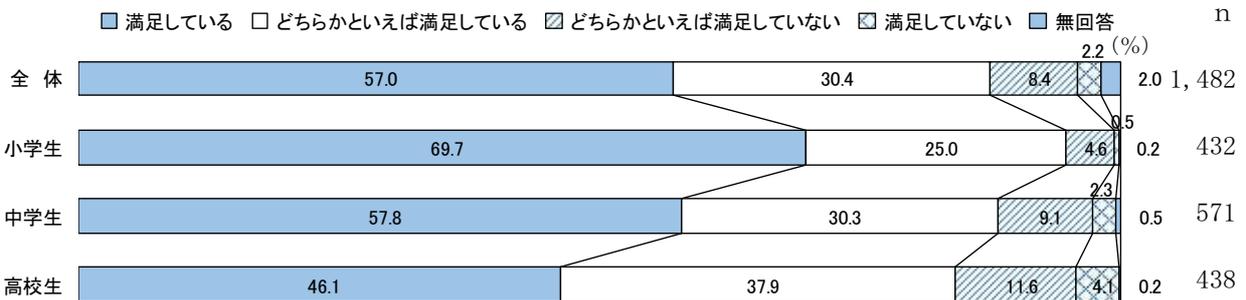
- ◇ 「知らない」が72.0%と全体の70%以上を占める。
- ◇ 小学生の「聞いたことがある」割合が22.7%で、高校生になるにつれて低くなる。



今の生活の満足感について 【問42】

■ 今の生活に満足していますか。(1つ)

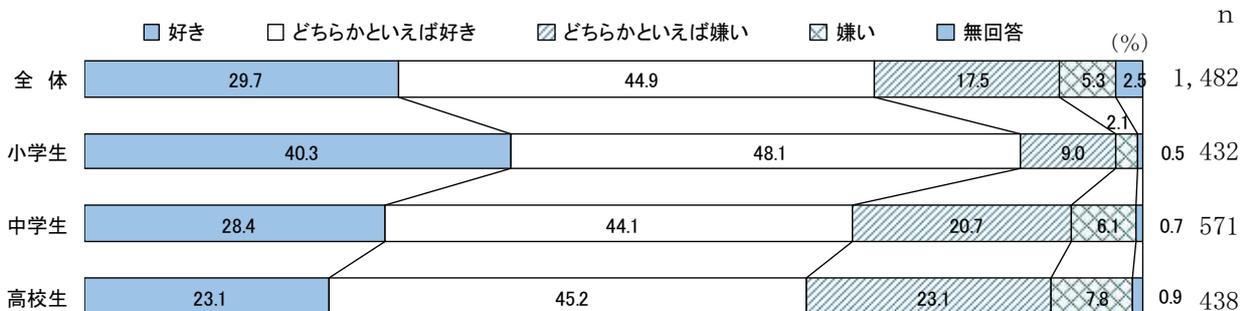
- ◇ 全体では、「満足している」が57.0%、「どちらかといえば満足している」が30.4%である。
- ◇ 高校生になるにつれて、「満足している」の割合が低くなる。



自分のことが好きかについて 【問39】

■ 自分のことが好きですか。(1つ)

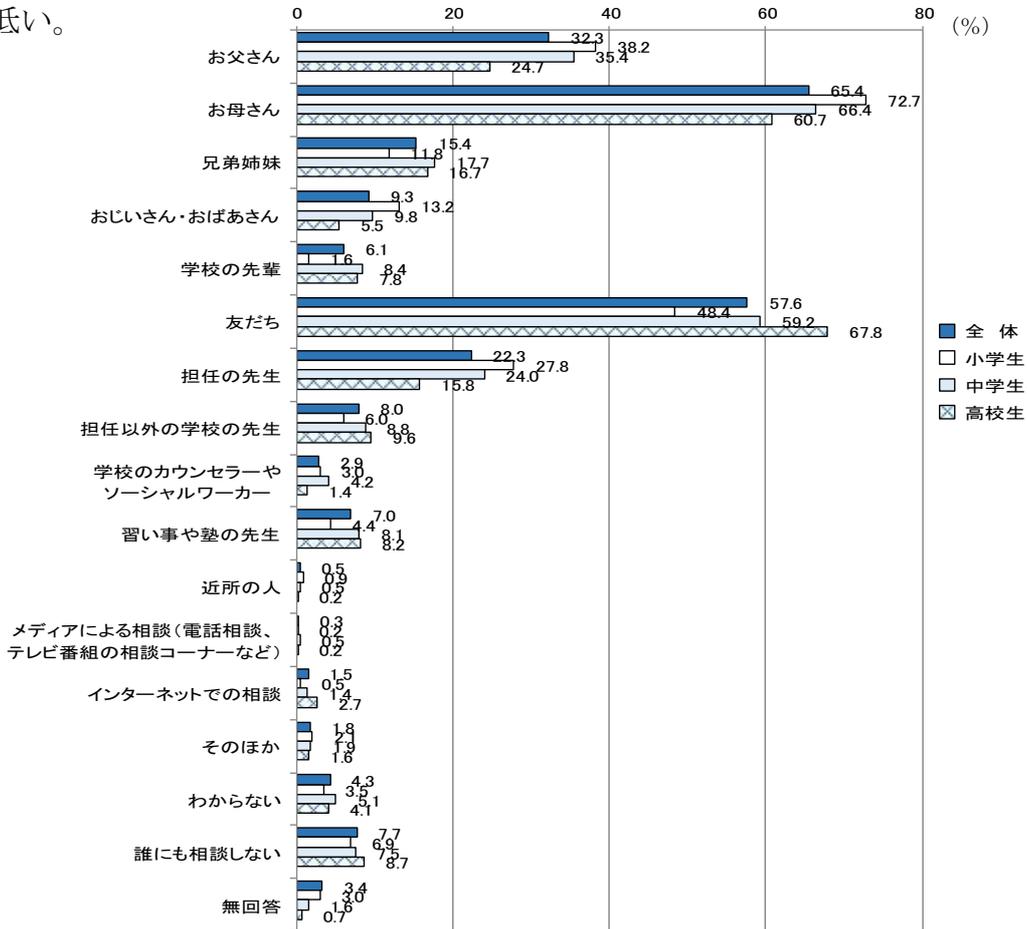
- ◇ 全体では、「どちらかといえば好き」が44.9%、「好き」が29.7%となっている。
- ◇ 高校生になるにつれて「どちらかといえば嫌い」「嫌い」の割合が高くなる。



悩みの相談相手について 【問30】

■ 悩みや困ったことがあるときに相談する人はだれですか。(複数回答)

- ◇ 全体では、「お母さん」が65.4%で最も多く、次いで「友だち」が57.6%、「お父さん」が32.3%、「担任の先生」が22.3%、「兄弟姉妹」が15.4%となっている。
- ◇ 「お父さん」「お母さん」に相談する割合は、ともに小学生が最も高く、高校生が最も低い。

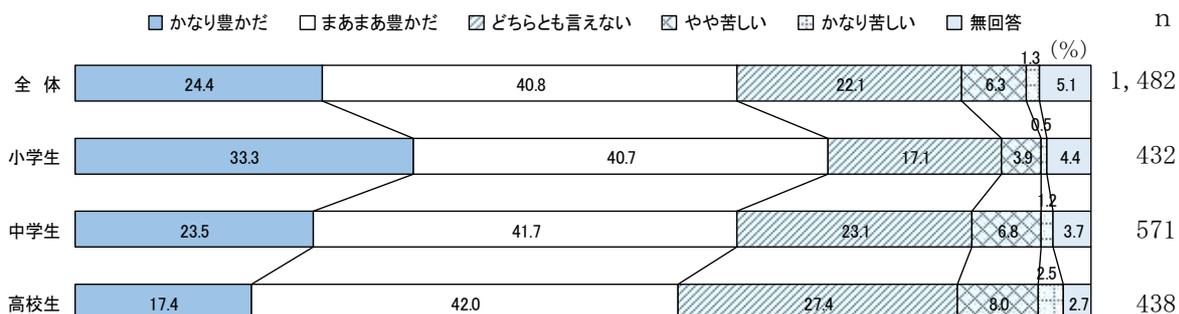


回答数 全体=3,642 小学生=1,055 中学生=1,487 高校生=1,035

経済的な生活レベルについて 【問15】

■ あなたの家庭の「経済的な生活レベル」について、あなたはどのように思いますか。(1つ)

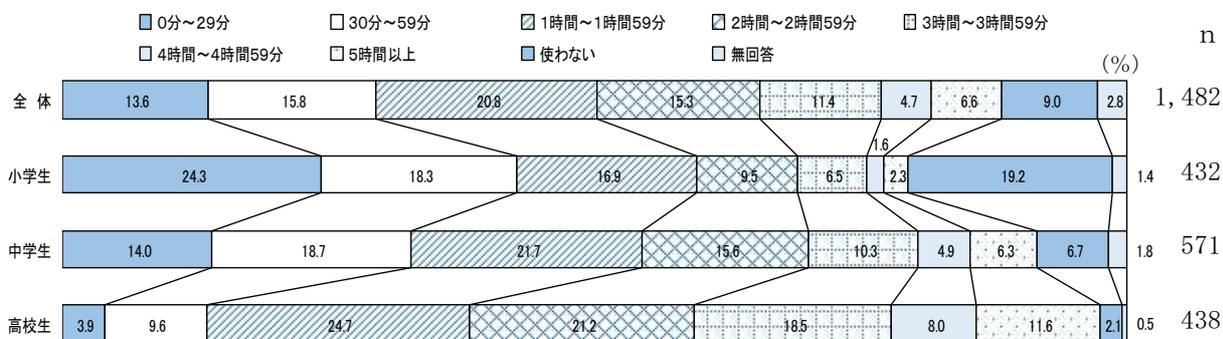
- ◇ 全体では、「まあまあ豊かだ」が40.8%で最も多く、次いで「かなり豊かだ」が24.4%であり、65.2%は豊かだと回答している。
- ◇ 小学生の場合、豊かだと感じている割合は74.0%であるが、高校生になるにつれてその割合が低下し59.4%となる。



インターネットの使用時間について 【問13】

■学校の授業以外で、パソコンや携帯電話などでインターネットを1日どのくらい使いますか。(1つ)

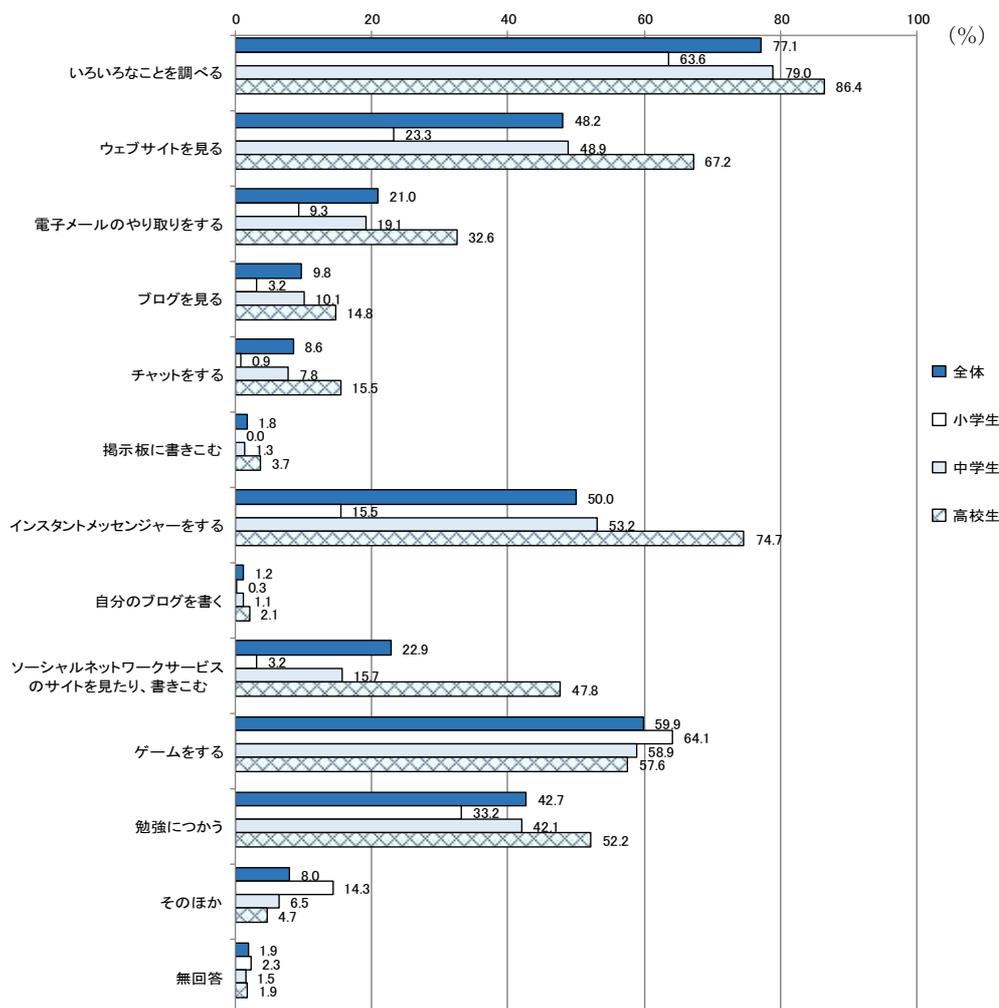
◇ 全体では、「1時間～1時間59分」が20.8%で最も多く、次いで「30分～59分」が15.8%、「2時間～2時間59分」が15.3%となっている。



インターネットの使用目的について 【問14】

■インターネットで何をしますか。(複数回答)

◇ 全体では、「いろいろなことを調べる」が77.1%で最も高く、「ゲームをする」が59.9%、「インスタントメッセージをする」が50.0%となっている。

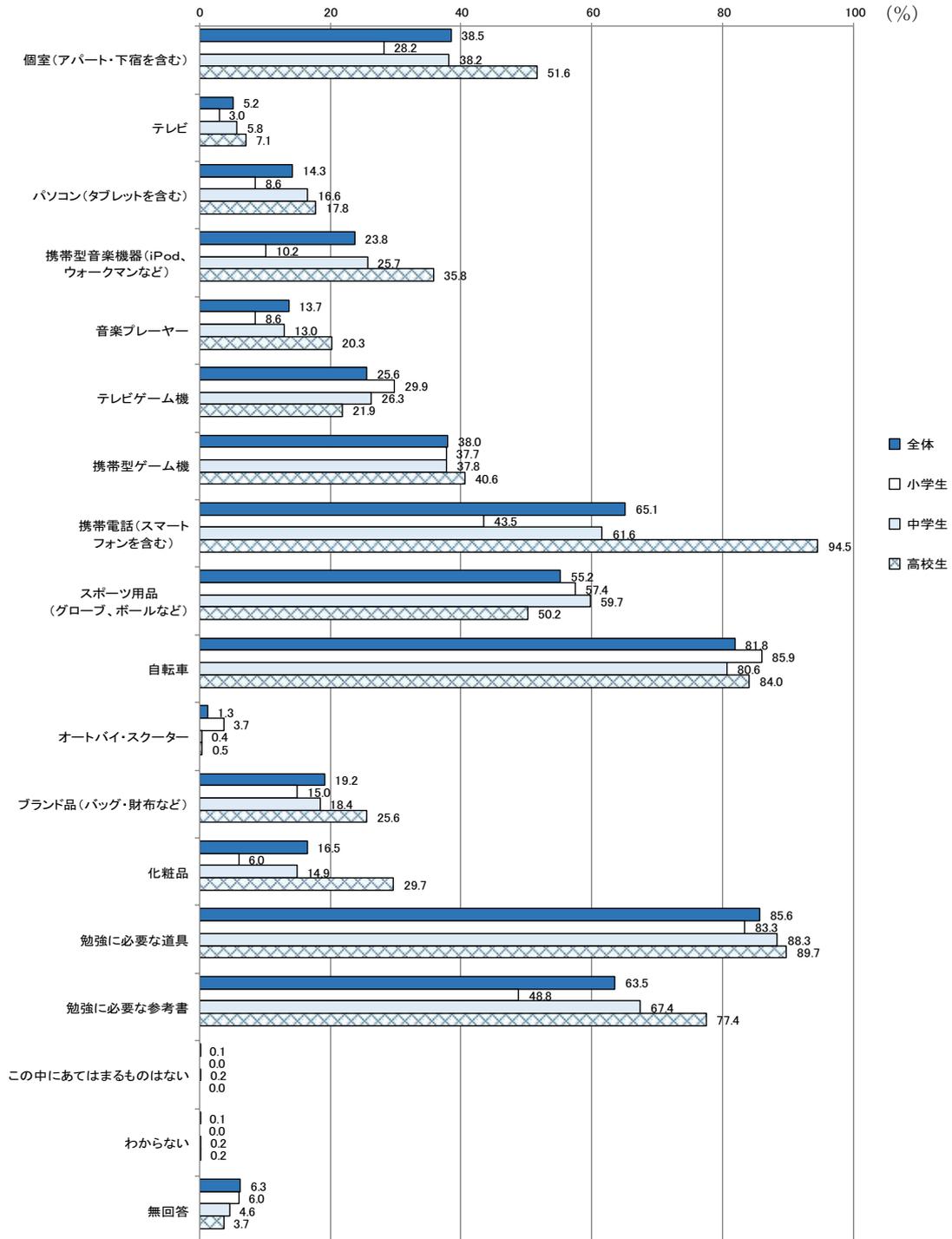


回答数 全体=4,618 小学生=800 中学生=1,806 高校生=1,969

自分専用の持ち物について 【問11】

■あなた「専用」のものを持っていますか。(複数回答)

- ◇ 全体では、「勉強に必要な道具」が85.6%で最も多く、「自転車」が81.8%、「携帯電話」が65.1%となっている。
- ◇ 「勉強に必要な道具」以外で所有割合が高いのは、小学生、中学生の場合は「自転車」、高校生の場合は「携帯電話」である。
- ◇ 「自転車」や「勉強に必要な道具」「携帯ゲーム機」などは、小学生、高校生で割合の変化はあまりみられないが、「個室」「携帯型音楽機器」「携帯電話」「化粧品」「勉強に必要な参考書」などは年齢が高いほど割合が高い傾向がみられる。



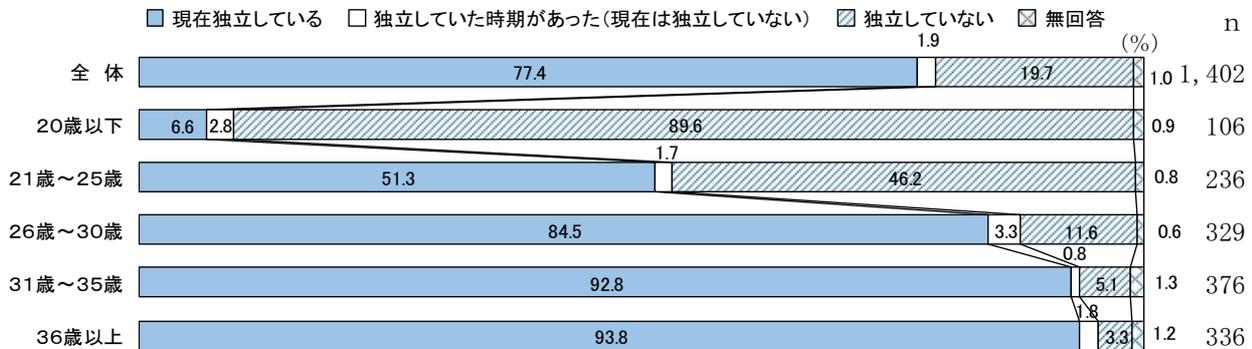
回答数 全体=8,208 小学生=2,056 中学生=3,195 高校生=2,850

Ⅱ 若者調査

あなたの経済状況について 【問3】

■現在、あなたは親から経済的に独立していますか。(1つ)

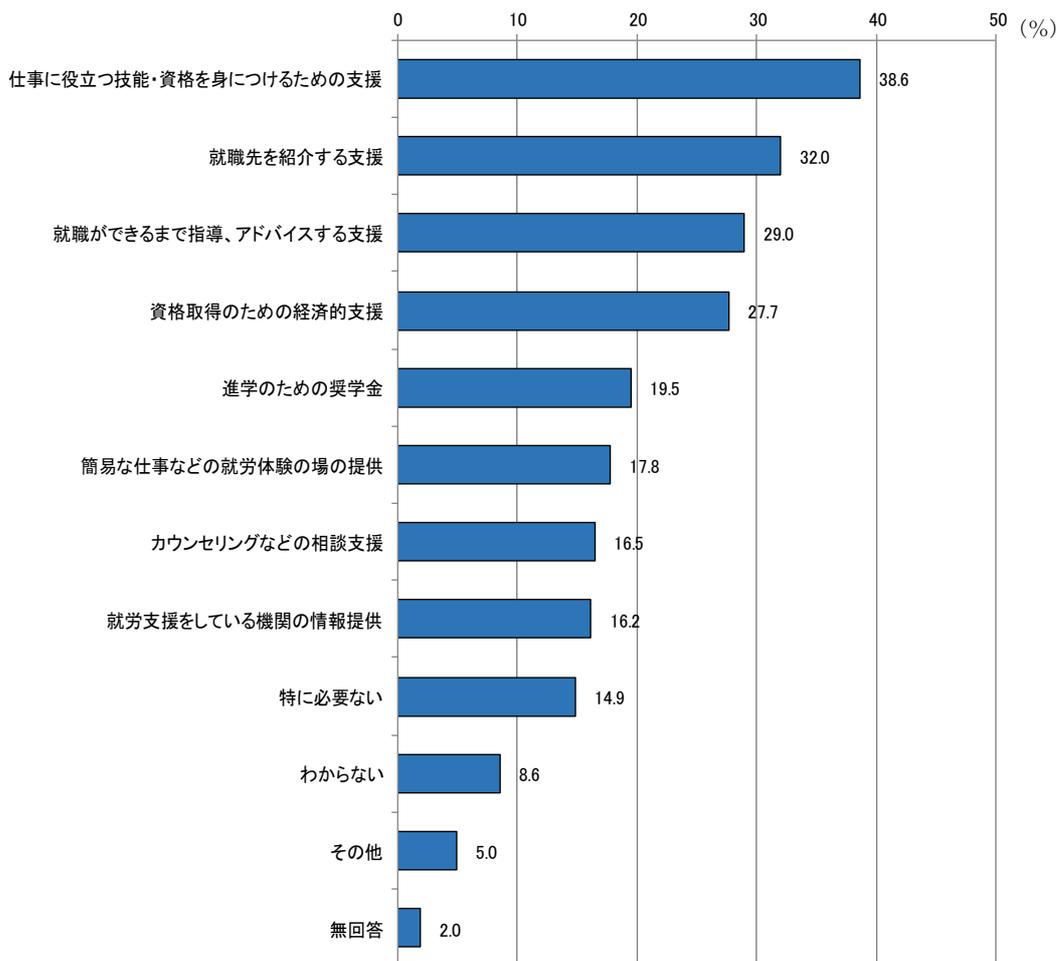
◇ 全体では、「現在独立している」が77.4%と最も多く、次いで「独立していない」が19.7%となっている。



経済的に独立するのに必要な支援について 【問6】

■経済的に独立するために、あなたが必要だと思う支援は何ですか。(複数回答)

◇ 「仕事に役立つ技能・資格を身につけるための支援」が38.6%と最も多い。

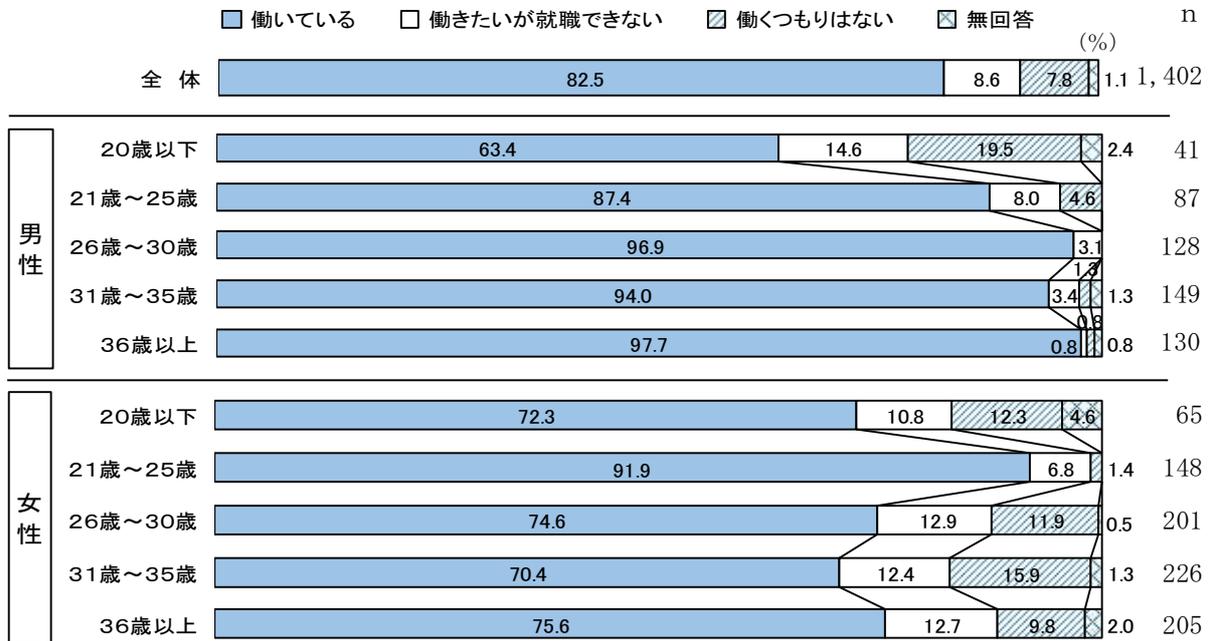


回答数 全体=690

現在の就業状況について 【問7】

■現在働いていますか（アルバイト等も含む）。（1つ）

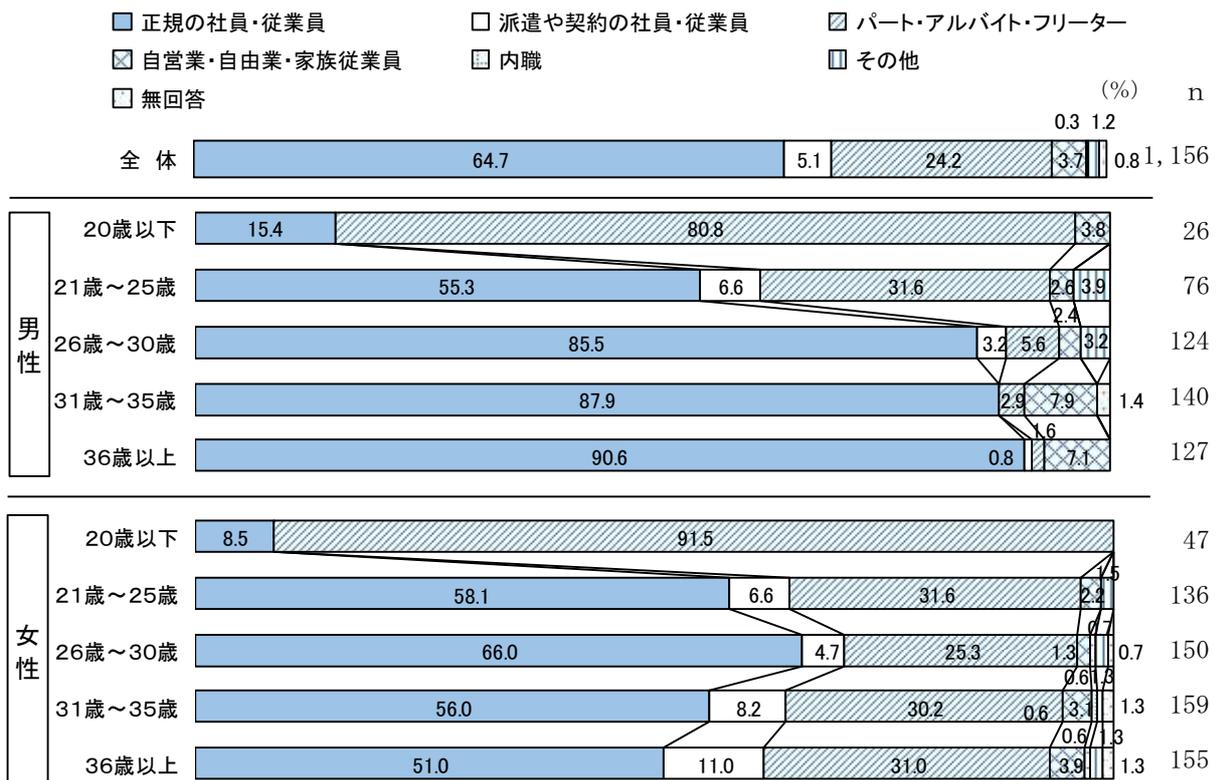
- ◇ 全体では、「働いている」が82.5%となっている。
- ◇ 男性の「働いている」と回答した割合では、「36歳以上」が97.7%と最も多い。
- ◇ 女性の「働いている」と回答した割合では、「21歳～25歳」が91.9%と最も多い。



現在の雇用形態について 【問8】

■現在の働き方（雇用形態）は何ですか。（1つ）

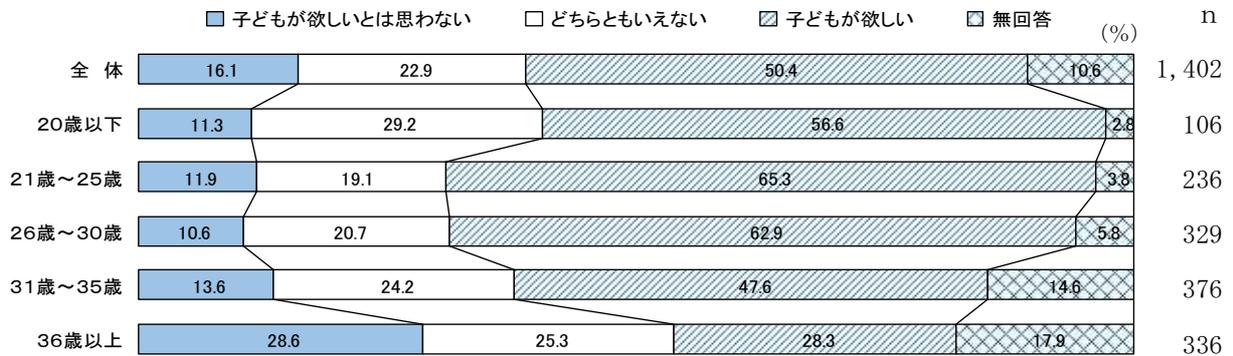
- ◇ 全体では、「正規の社員・従業員」が64.7%と最も多く、次いで「パート・アルバイト・フリーター」が24.2%となっている。



子どもが欲しいかについて 【問20】

■ 将来、子どもが欲しいですか。すでにお子さんがある方も、もっと子どもが欲しい、という方は「子どもが欲しい」を選んでください。(1つ)

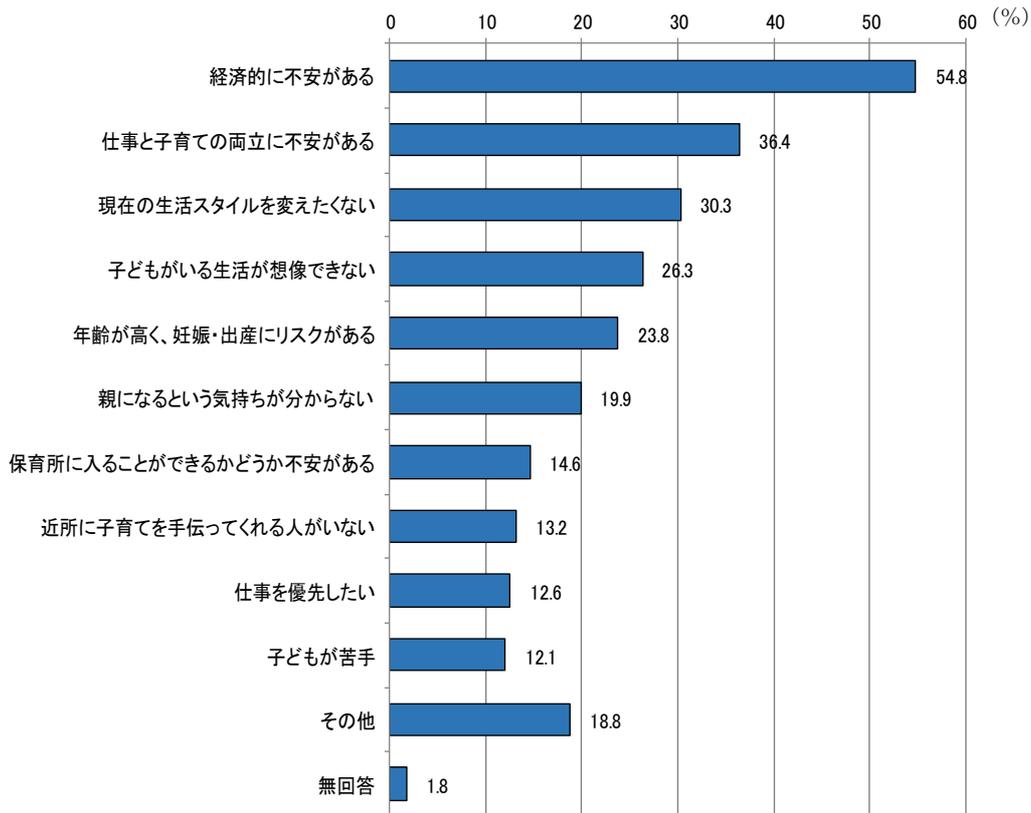
◇ 全体では、「子どもが欲しい」が50.4%と最も多い。



子どもが欲しいと思わない理由について 【問21】

■ 子どもが欲しいと思わない理由またはどちらともいえない理由は何ですか。(複数回答)

◇ 「経済的に不安がある」が54.8%と最も多い。

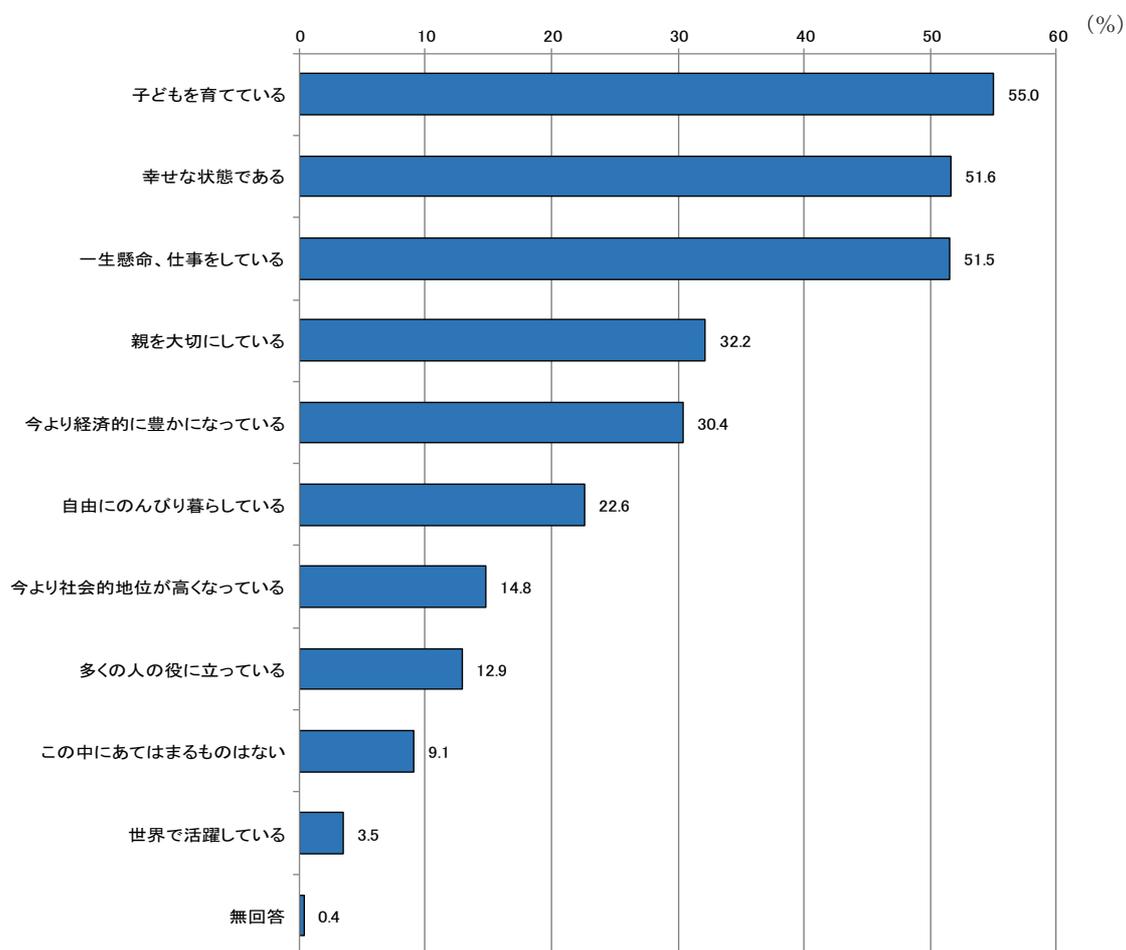


回答数 全体=1,448

5年後の自分のイメージについて 【問53】

■ 5年後の自分をどのようにイメージしていますか。(複数回答)

◇ 「子どもを育てている」が55.0%と最も多く、次いで「幸せな状態である」が51.6%、「一生懸命、仕事をしている」が51.5%となっている。



回答数 全体=3,982

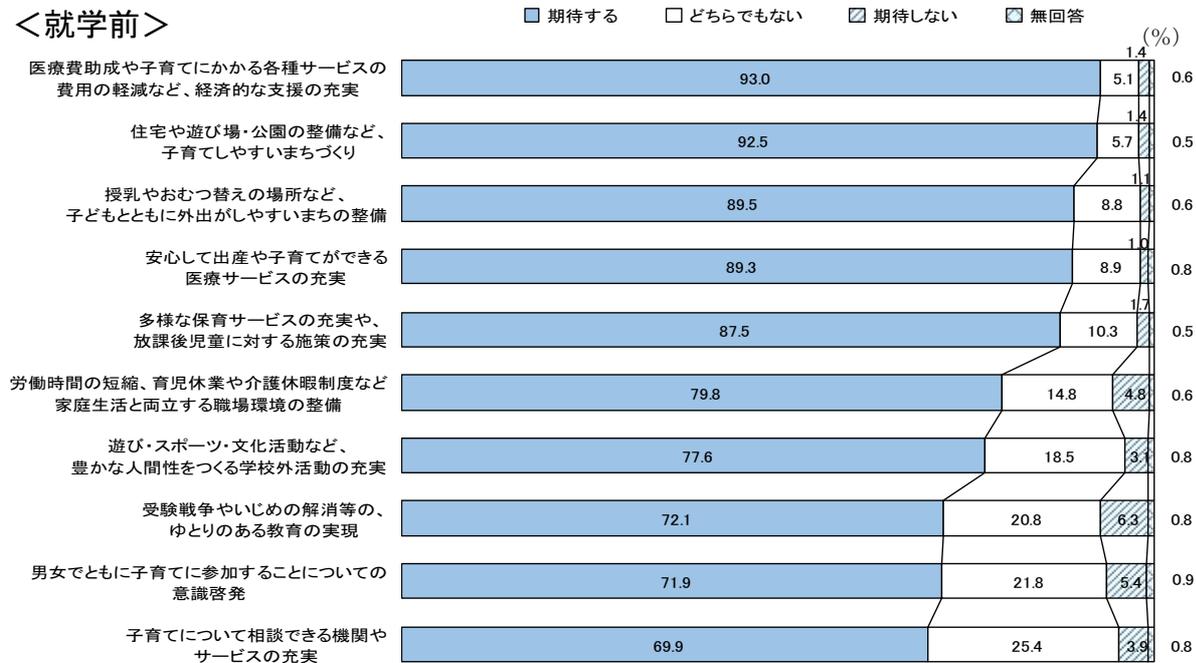
Ⅲ 保護者調査

名古屋市の子育て支援の取り組みについて【就学前 問8】 【就学後 問8】

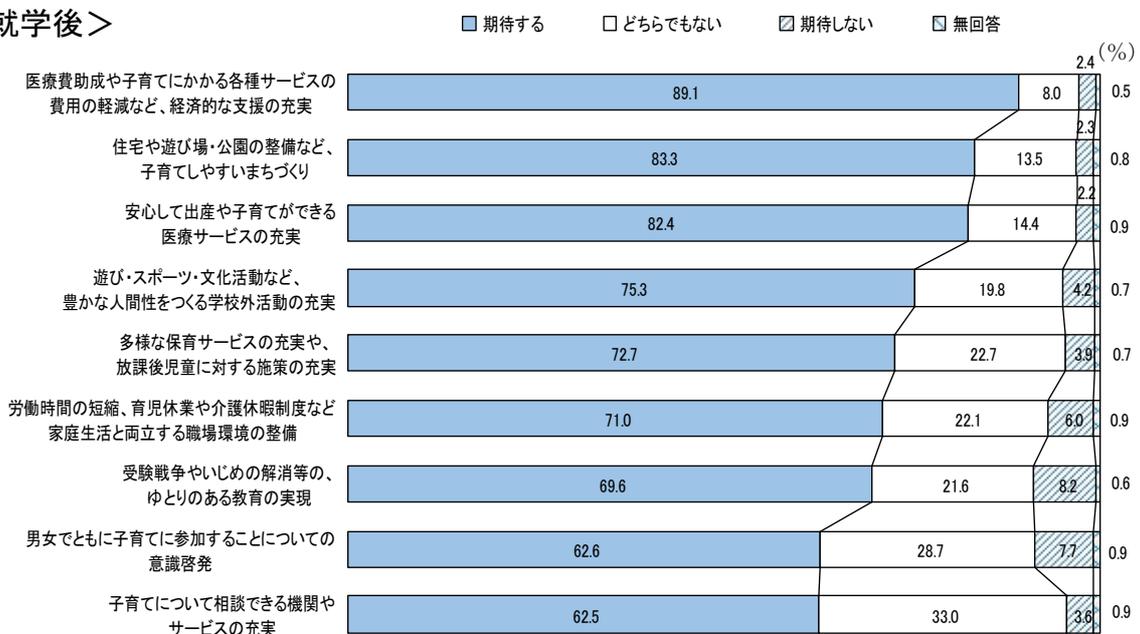
■名古屋市の子ども・子育て支援への取り組みについてあてはまるものを選んでください。(期待の有無)

◇子どもが就学前・就学後の親がともに「期待する」の割合が高いのは、「医療費助成や子育てにかかる各種サービスの費用の軽減など、経済的な支援の充実」である。

<就学前>



<就学後>



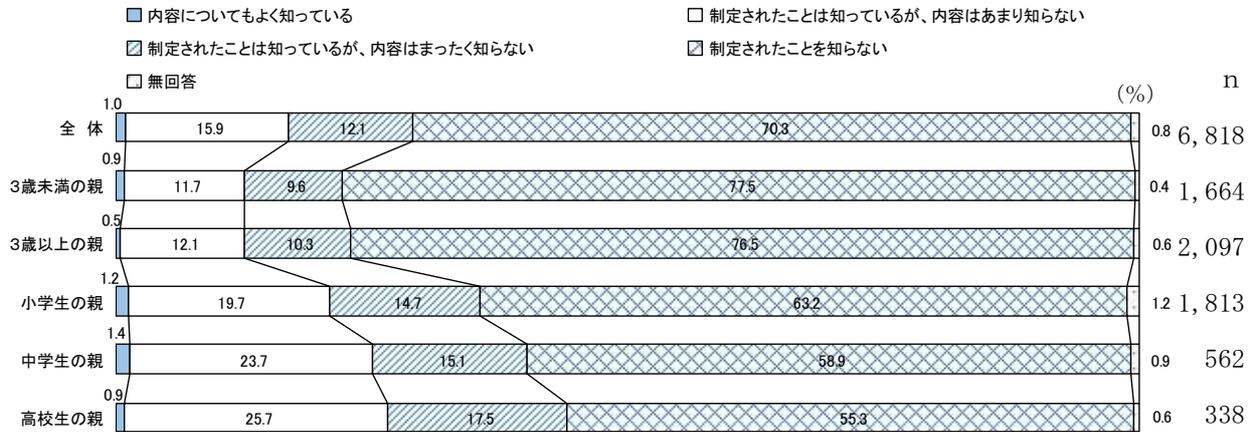
回答者数 就学前=3,915 就学後=2,903

なごや子ども条例について 【就学前 問7】 【就学後 問7】

■あなたは、平成20年4月に「なごや子ども条例」が制定されたことを知っていますか。

(1つ)

◇ 全体では、なごや子ども条例について「制定されたことを知らない」が70.3%と最も多く、次いで「制定されたことは知っているが、内容はあまり知らない」が15.9%である。



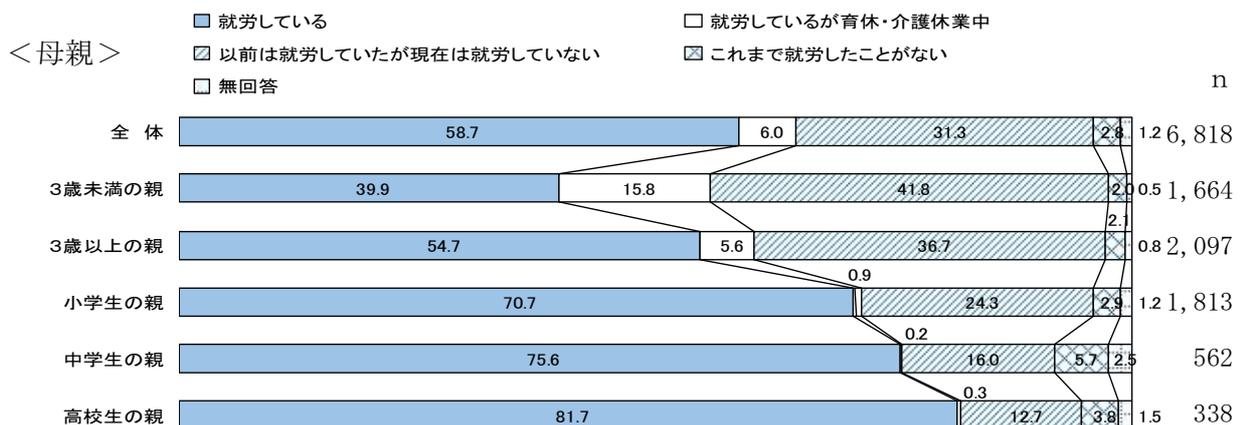
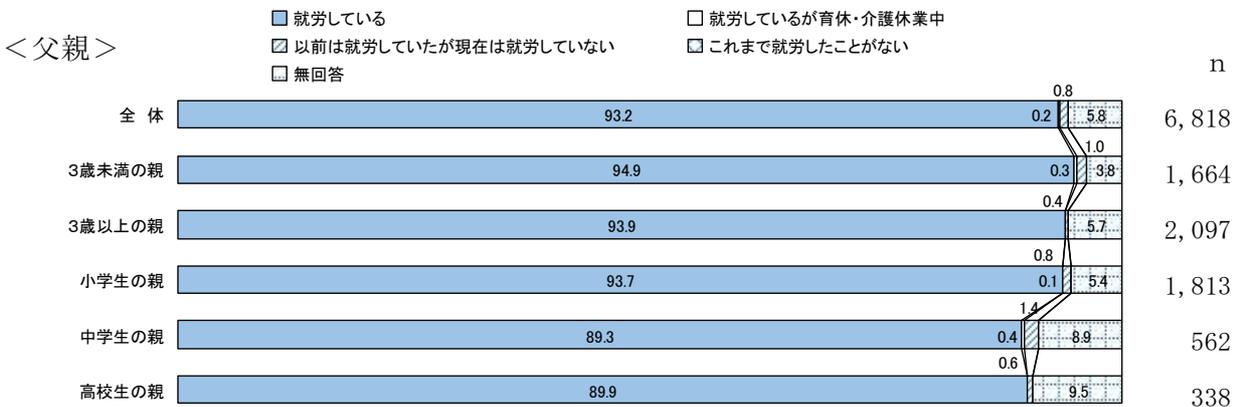
両親の就労状況について 【就学前 問9・就学前 問17】 【就学後 問9・就学後 問17】

■父親の就労状況について、あてはまるものを選んでください。(1つ)

■母親の就労状況について、あてはまるものを選んでください。(1つ)

◇ 父親の就労状況では、「就労している」が93.2%である。

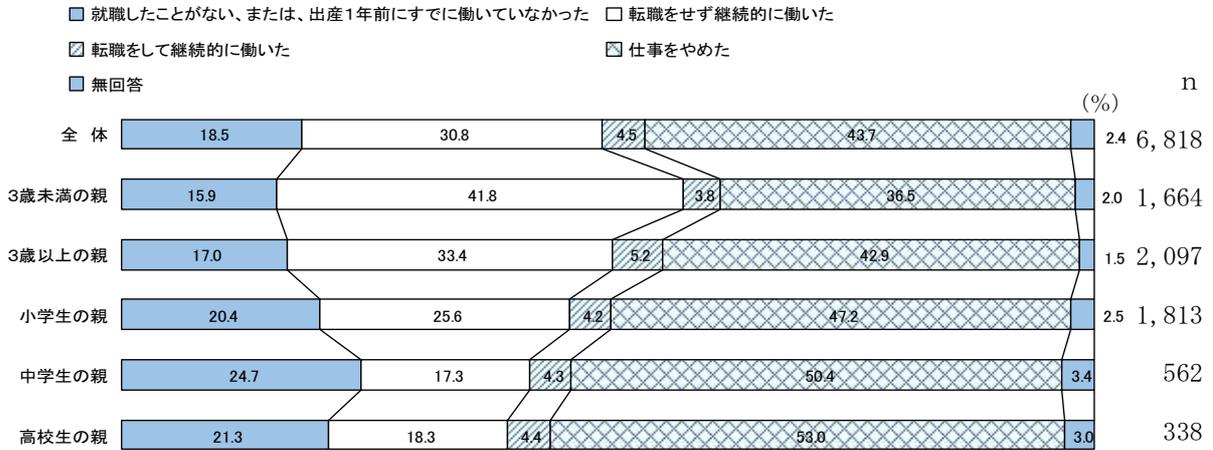
◇ 母親の就労状況では、「就労している」が58.7%である。



出産にともなう母親の退職や転職について 【就学前 問25】 【就学後 問25】

■母親は、出産前後（それぞれ1年以内）に仕事をやめたり、転職をしましたか。（1つ）

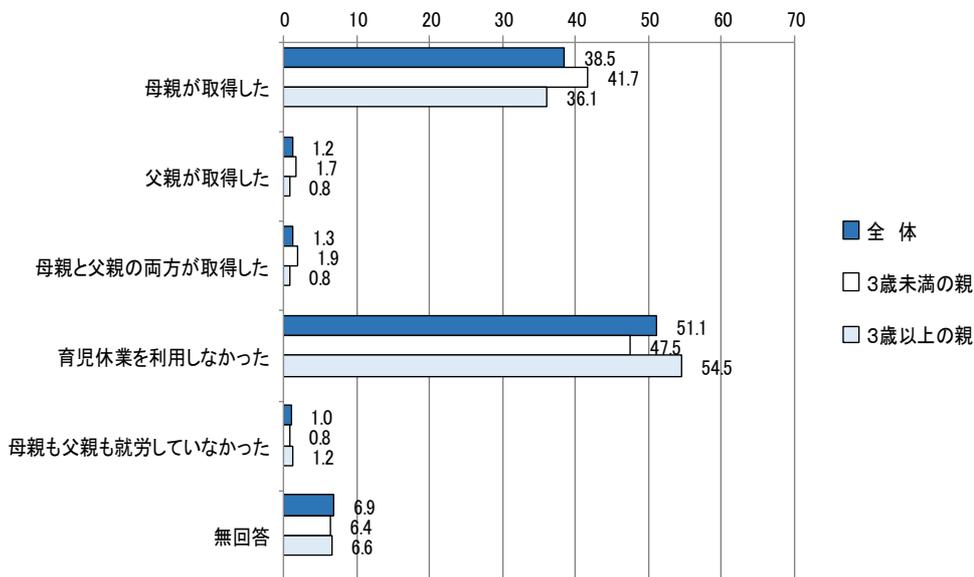
◇ 全体では、「仕事をやめた」が43.7%と最も多く、次いで「転職をせず継続的に働いた」が30.8%、「就職したことがない、または、出産1年前にすでに働いていなかった」が18.5%となっている。



育児休業の取得について 【就学前 問27】

■あて名のお子さんについて、母親または、父親が育児休業を取得しましたか。（1つ）

◇ 全体では、「育児休業を利用しなかった」が51.1%と最も多く、次いで「母親が取得した」が38.5%となっている。



回答数 全体=3,915 3歳未満の親=1,664 3歳以上の親=2,097

子育ての経済的負担について 【就学前 問85】 【就学後 問31】

■あなたの世帯の現在の暮らし向きについてあてはまるものを選んでください。(1つ)

◇全体では、「普通」と回答した割合が45.3%と最も多く、次いで「やや苦しい」が22.2%、「ややゆとりがある」が18.1%となっている。



お子さんの人数について 【就学前 問98】 【就学後 問48】

■あなたには何人のお子さんがありますか。また、理想としては、子どもは何人いるのが望ましいと考えていますか。(各1つ)

◇全体では、実際の子どもの人数は、「2人」が52.4%、次いで「1人」が24.9%となっており、理想とする子どもの人数は、「2人」が44.9%、次いで「3人」が42.6%となっている。

◇理想とする子どもの人数の平均は2.58人に対して、実際の子どもの人数の平均は2.01人であり理想より低い値となっている。

(1) お子さんの人数



(2) 理想とする人数

